

島根中央高校だより

SHIMA CHU DAYORI-vol.36

部活動大会 主な結果

今夏、カヌー部・吹奏楽部がそれぞれの大会で大活躍し好成績を収めることができました！生徒の頑張りはもちろん、指導者や保護者の方々のサポート、地域の方々からの応援が形になりました。皆さん、熱い応援をいただき、ありがとうございました！

カヌー部

世界大会出場
inポルトガル



小鍵亮太 (3年 滋賀県・仰木中出身)

今回のレースでパワーや技術をもっと身に付けなければならないと実感しました。一方で、トップスピードを維持する身体能力を身に付けることで、海外選手に勝てる希望が見えてくると思いましたが、先生や地域の方々を支えてくださったお陰で世界大会に出場することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

齋藤哲一 (3年 宮城県・中新田中出身)

日本では考えられない設備と会場の広さに驚きました。海外選手と比べると、体の大きさ、漕ぎ方、体力など課題があると実感しましたが、もっと努力すれば世界と渡り合えることができると思いました。コロナ禍でしたが、世界大会に出場できるよう応援してくださった皆様のお陰で高校最後のレースをやりきることができました。ありがとうございました。

行田朋晃 (3年 邑智中出身)

海外選手は体幹がぶれることなく常にお腹で漕いでおり、スタートのトップスピードが最後まで落ちることがありませんでした。後輩たちには、自分の目標を常に意識すること、徹底した身体作りを行うことを大切にしてほしいと思います。世界大会に出場できたのは、先生方、家族、地域の方々のご支援があつてのことだと感謝しています。

橋本茉音 (3年 滋賀県・堅田中出身)

3年生で初めてインターハイに出場し、3年間の集大成の場になり、K-4で500m2位、200m3位という結果を出すことができました。女子も結果を残したいと思っていたので、本当に嬉しかったです。OBや地域の方からのたくさんの応援や、先生方のサポートのもとでカヌーができたことに、本当に感謝したいと思います。

2021年度カヌースプリントジュニア世界選手権 9/3~6 (ポルトガル)

U18男子カヤックペア	500m	第15位	行田朋晃・齋藤哲一 (日本代表チーム最上位)
U18男子カヤックフォア	500m	準決勝進出	行田朋晃・齋藤哲一・小鍵亮太

顧問 堀田育子先生

★カヌースプリントジュニア世界選手権において

コロナ禍で大会が開催されるのか、帰国後の感染や待機期間のことを考えると不安でした。しかし会場に着き、メイン・サブコースで堂々と練習をする生徒たちを見て「生徒たちは世界に戦いに来た」ことを再確認し、不安が期待に変わりました。物怖じすることなく、自分の力を全て出し切って戦っている姿に感動しました。

今回、日本国内は緊急事態宣言が発令され、島根県でも部活動制限が出ている中、このような貴重な経験をさせていただき、島根県・本校後援会・先生方・全ての皆様に感謝します。世界で学んだことを生徒のために生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

★全国高等学校総合体育大会カヌー競技において

生徒たちは優勝目指して福井県に入りましたが、厳しい戦いとなりました。ただ、男女とも優勝できる力は備わっている、優勝させたいと思っていました。表彰台で、笑顔で金・銀・銅メダルを受ける姿に涙が溢れました。最後まで諦めず、よく頑張ったと思います。目標達成に向けて十分なサポートができたかどうかは分かりませんが、満面の笑顔にホッとしました。3年間、感動をたくさんくれた生徒たちに心から感謝の気持ちでいっぱいです。

インターハイ
上位入賞!

全国高等学校総合体育大会(北信越総体2021)カヌー競技 8/18~21 (福井県)

少年男子カヤックペア	500m	第2位	齋藤哲一・小鍵亮太
少年男子カヤックフォア	500m	第2位	行田朋晃・小鍵亮太・齋藤哲一・大見省吾
少年女子カヤックフォア	500m	第2位	松岡華加・山根陽菜子・橋本茉音・和泉凜音
少年男子カヤックペア	200m	第2位	齋藤哲一・小鍵亮太
少年男子カヤックフォア	200m	第1位	行田朋晃・小鍵亮太・齋藤哲一・大見省吾
少年女子カヤックフォア	200m	第3位	松岡華加・山根陽菜子・橋本茉音・和泉凜音

吹奏楽部

中国大会
金賞受賞!

第62回全日本吹奏楽コンクール中国大会
8/22 (島根県民会館)

高等学校小編成の部	金賞
-----------	----



南雲瑛結 (3年 東京都・西戸山中出身)

中国大会に向けて、心に響く音楽を届けることを目標に、曲のイメージや表現などにこだわって練習をしてきました。中国大会本番では、各々が日頃の練習の成果を発揮できたと思います。金賞が取れたのは、私たちの努力だけではなく、保護者の方、地域の方を始めとする多くの方にご協力、応援をいただいた結果です。ありがとうございました。これからも音楽の町である川本から心に響く音楽を発信できるよう、部員一同練習に励んでいきます。

顧問 藤原愛先生

大舞台上に臨む生徒たちには緊張やプレッシャーもありましたが、本番では日々の積み重ねを生かした演奏ができました。満足がいく演奏ができた上でコンクールの結果として最高の賞をいただけたことを嬉しく思います。これまでの生徒たちの努力に拍手を送ります。また、これからも様々な活動を通して、聴いてくださる方に感動を届けられるよう努力していきます。共に切磋琢磨してくれる中学生の皆さんの入部を待っています。

2021 学園祭特集 LOVE

9月4日(土)・5日(日)に学園祭を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程を2日間に縮小し、両日も本校生徒及び教職員のみでの実施になりました。1日目の文化祭は、吹奏楽部のコンサート、江川太鼓パフォーマンスが行われました。校内は1年生の装飾で彩られ、催し物会場では、文化部、委員会、2年生の展示がありました。2日目の体育祭は、3年生を中心に各分団が一致団結して競技に挑みました。

1年間の中でも大きな行事のひとつである学園祭ですが、今回は、縁の下の方持ち、生徒会執行部と副分団長の皆さんに、その裏側について話を聞きました!



生徒会執行部メンバー

- 生徒会長 篠田理玖 (2年 東京都・調布中出身)
- 生徒会副会長 岩田桃李 (2年 神奈川県・国府中出身)
- 生徒会副会長 吉田菜生 (2年 大阪府・青山台中出身)



- 今年の学園祭は、例年とは違い短縮された実施となりました。みんながどうしたら楽しいと思える学園祭になるかを考え、夏休み明けから学園祭までの期間、毎日実行委員会を開き、学園祭の変更点を話し合いました。話し合いをする中で、たくさん言い合いをしたり、コミュニケーションをとるのに苦労したり、情報伝達が上手くいかないこともありました。
- また、短縮されたことで生徒会の仕事は少なかったですが、1人1人役割を怠ることなくやり遂げることができました。
- 今年の学園祭は、生徒会だけの力ではありません! 生徒の皆さんが協力をしてくれたことで、この2日間を無事に終えることができました。
- 生徒の皆さん、先生方、ありがとうございます。

みんなでがんばった学園祭

1分団は... 衣装が大変



2分団は...



3分団も... 衣装が終わらない... ヤバイ... 終わらない...



文化祭も... 規模縮小でみんなに楽しんでもらうことを 悩みに悩んだ生徒会



1分団(黒組)『タビオカ』 下垣瑞布(3年 川本中出身)

副分団長として自分の係だけでなく他の係の手伝いに行ったり、スムーズに進むようにアドバイスをしました。そんな中でも、衣装には時間がかかり、サイズ、デザインの変更を何枚も作り直しをしました。

また、分団長は準備期間中、各係の様子を見回り、係の中で手伝えることは手伝って、とても頼りになりました。

裏話

チーム名の理由は?

分団長の「『タビオカ』にしよう!!」で決まりました。

優勝

2分団(黄組)『Let's go 馬七』 才崎里菜(3年 広島県・日浦中出身)

これといった裏側の話はなく、2分団は本当に仲がよく、揉めることはありませんでした。また、団長の盛り上げもあり、最初から最後までみんなが体育祭を楽しんでいました。ただ、体育祭の準備期間が短く、衣装の完成がギリギリになってしまったことが何よりも大変でした。

裏話

チーム名の理由は?

バナナのように気品高く・美しく・輝けるように伸び伸びと楽しく、バナナの皮のように滑らかさ・面白さを目指して、命名しました。

3分団(白組)『We're 志羅多摩』 松岡華加(3年 川本中出身)

衣装作りがすごく大変で、分団長が足りない部分を補いながら衣装の手伝いを主にやっていたので、副分団長として各係を回りました。作る段階で意思疎通ができず、衣装長と衣装係の意見が噛み合っていないこともありましたが、話し合いや衣装係が衣装長の意思を汲み取ってやっていました。上手くいかないこともありましたが、みんな楽しくやっていました。

裏話

チーム名の理由は?

チーム名「We're 志羅多摩」は、分団長の「これがいい!!」で決まりました。

発行

島根県立島根中央高等学校
島根県立島根中央高等学校後援会

〒696-0001 TEL: 0855-72-0355(代表)
島根県邑智郡川本町大字川本 222 番地 FAX: 0855-72-0388
E-mail: shimanecho-u@edu.pref.shimane.jp HP: https://www.shimane-cho-u.ed.jp/



お知らせ

動画紹介!

本校の魅力について、卒業生の保護者にインタビューをしました。ぜひご覧ください。

